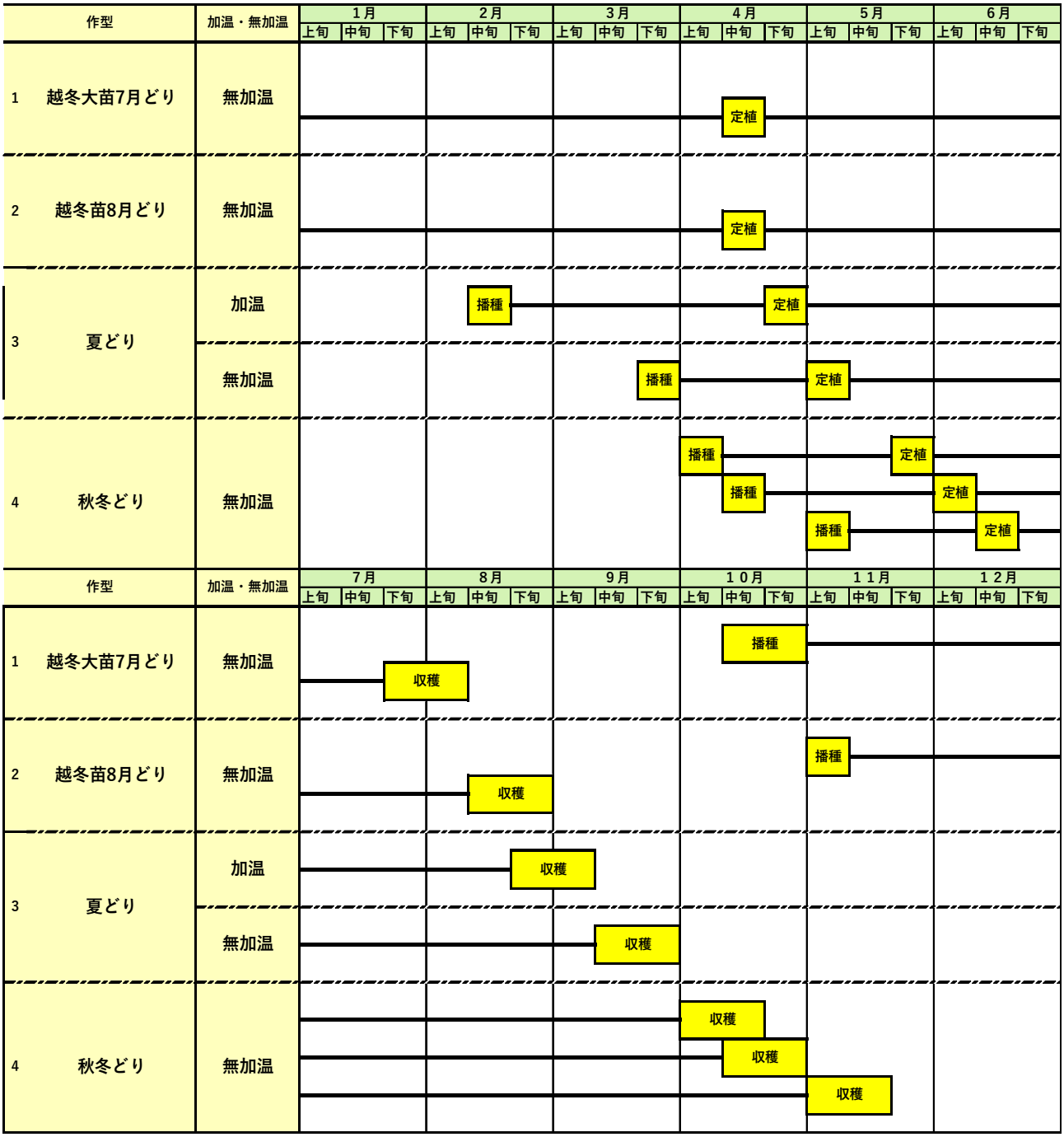
令和５年３月８日作成

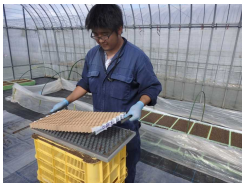
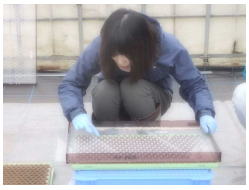
ねぎ栽培作業体系マニュアル

（令和５年度版）

雄勝ＩＣＴ協議会

ねぎの栽培体系


作型
加温・無加温
1月
2月
3月
4月
5月
6月
上旬 中旬 下旬
1 越冬大苗7月どり
無加温
定植
2 越冬苗8月どり
無加温
定植
3 夏どり
加温
播種
定植
無加温
播種
定植
4 秋冬どり
無加温
播種
定植
播種
定植
播種
定植
作型
加温・無加温
7月
8月
9月
10月
11月
12月
上旬 中旬 下旬
1 越冬大苗7月どり
無加温
播種
収穫
2 越冬苗8月どり
無加温
播種
収穫
3 夏どり
加温
収穫
無加温
収穫
4 秋冬どり
無加温
収穫
収穫
収穫

苗の準備 播種～定植の間	ほ場の準備 定植時	栽培管理 定植～収穫の間	収穫・調整 収穫時
 チェーンポットへの土詰め	 耕起	 土寄せ（培土）	 収穫
 播種	 畝立て・肥料散布	 除草剤散布	 調整
 育苗管理	 ひっぱりくんによる定植	 病害虫防除	

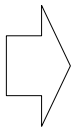
「病害虫防除」の変更点
～環境に優しい農業への転換～

● 発生予測を用いたべと病予防

べと病感染好適日を、日平均気温13～20℃、日照時間１時間以下、降雨４㎜以上と設定し、好適日翌日に、銅水和剤（日本農林規格（JAS）の有機農産物栽培において使用することができる薬剤）を散布し、化学合成農薬の使用回数を減少させる。

○ 従来のローテンション防除

時期	農薬名	農薬成分
６月中旬	ダコニール１０００	１成分
６月下旬	ザンプロDMフロアブル	２成分
７月上旬	アミスター２０フロアブル	１成分



○ 発生予測を用い防除

時期	農薬名
好適日翌日	Ｚボルドー（ＪＡＳ規格）

令和４年度の散布状況

○ 従来のローテンション防除

６月12日　ダコニール１０００
６月20日　ザンプロDMフロアブル
７月14日　アミスター２０フロアブル

○ 発生予測を用い防除

６月25日　Ｚボルドー

※令和４年度は、ローテーション防除期間の好適日は６月24日のみ

○ べと病発生状況（発病株率）

	6/17	7/5	7/19
従来区	0	0	0
予測区	0	0	0

べと病の発生程度が同等なので、防除効果は同等と思われる。

◎ まとめ

発生予測を用いると従来のローテーション防除より、化学合成農薬の成分を４成分削減できる。

● 発生調査を用いたネギアザミウマの予防

発生調査を用いて、発生数が増加するまでは、殺虫剤の散布を行わない。

○ 従来のローテンション防除

時期	農薬名	農薬成分
６月下旬	カスケードフロアブル	１成分
７月上旬	モスピラン顆粒水溶剤	１成分

○ 発生調査を用いた防除

時期	農薬名
増加の確認	従来薬剤の使用

○ ネギアザミウマの発生状況（被害株率）

6/17	7/5
1	3

令和４年度の散布状況

○ 従来のローテンション防除

６月20日　カスケードフロアブル

７月14日　モスピラン顆粒水溶剤

○ 発生調査を用いた防除

６月20日　散布無し

７月14日　モスピラン顆粒水溶剤

○ ネギアザミウマの発生状況（被害株率）

	7/5	7/19
従来	3	3
調査	7	2

発生数が増えてからの防除でも、効果は同等である。

◎ まとめ

発生調査を用いると従来のローテーション防除より、化学合成農薬の成分を１成分削減できる。

～省力化の推進～

● ドローンによる防除

１ｈａ以上のねぎ栽培を行う場合、ブームスプレイヤーの導入が見られてきている。今回は、ブームスプレーヤーとドローンによる防除を比べ、省力化を検討した。

○ 従来防除（ブームスプレイヤー）

○ 展示 ドローン防除

散布条件 農薬：アミスター２０フロアブル
ブームスプレイヤー散布 2,000倍 150L/10a　　ドローン散布 16倍 1.6L/10a

○ 展示結果

（分）

	散布時間 10ａ当	薬剤調整・移動
ドローン	１	１
ブーム	４	６０
参考：動噴	２０	６０

散布時間の大きな違いは無いが、薬剤調整等では、大きく作業時間の短縮が図られる。

○ １ｈａで作業を行った場合
液量：ドローン16L（2回充填）、ブーム1,500L（3回調整）

（分）

	散布時間	薬剤調整・移動	（参考）散布料
ドローン	１０	２	20,000円（2,000円/10a）
ブーム	４０	１８０	
参考：動噴	２００	１８０	

◎ まとめ

大規模栽培（１ｈａ規模）の場合、作業時間を約1/10まで短縮ことができる。

「耕起」と「畝立て」の変更点
～省力化の推進～

○　直進アシストトラクター＋畝立て同時施肥機

　従来のねぎ栽培では、畝立ては１連の管理機で行うが、今回は、トラクターアタッチの２連畝立て機を使用した。合わせて同時施肥を行った。

○　従来　　管理機による１連畝立て
　施肥は、畝立て後、歩行による手散布

○　展示　　直進アシストトラクター＋畝立て同時施肥機

直進アシストトラクター＋畝立て同時施肥機

白く見えるのは、肥料
直進アシストにより、畝は直線

○　作業時間

（分／10ａ）

	畝立て	肥料散布
トラクター	３３	
管理機	５５	４４

○　１ｈａで作業を行った場合

（分／10ａ）

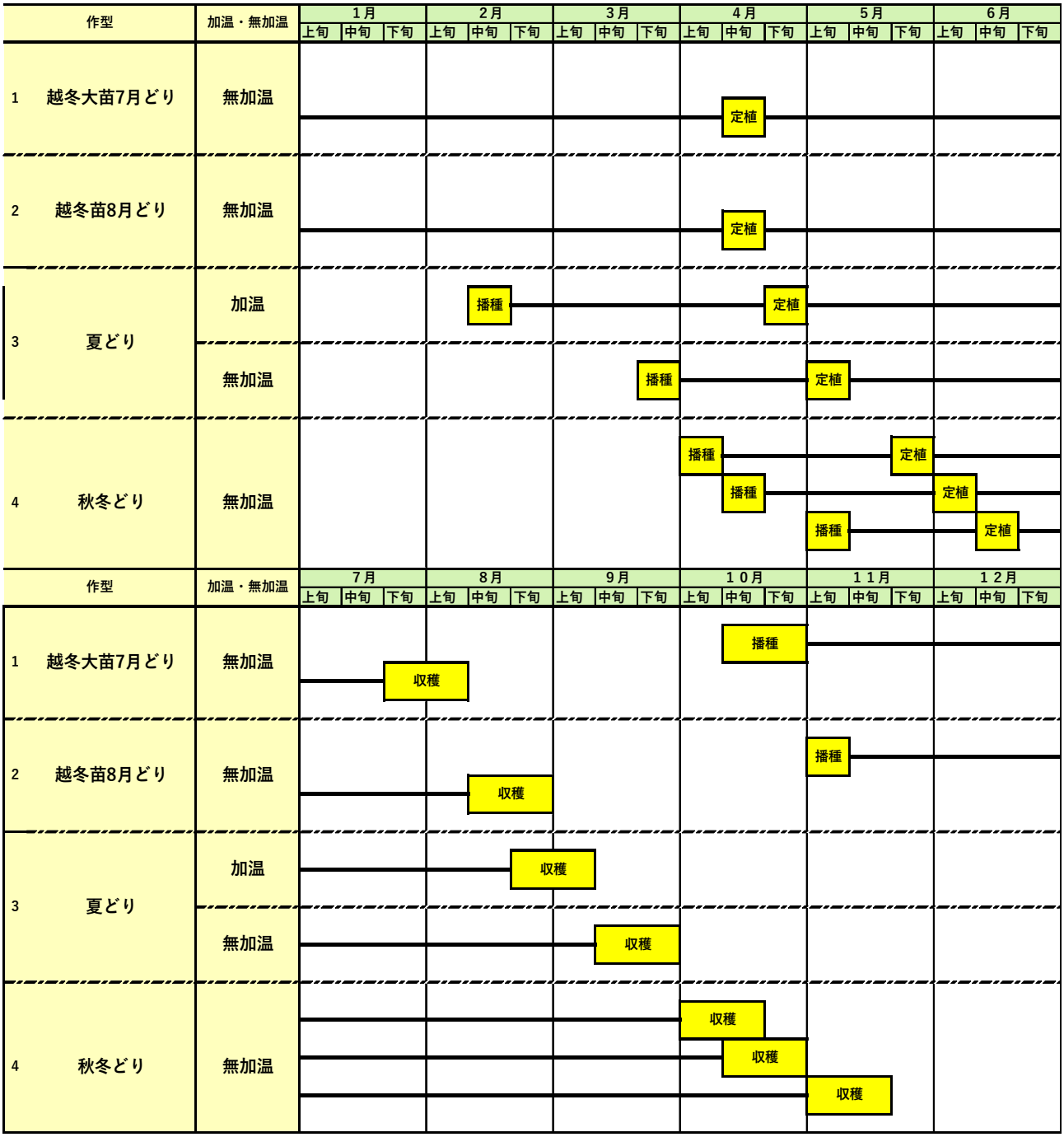
	畝立て	肥料散布
トラクター	３３０	
管理機	５５０	４４０

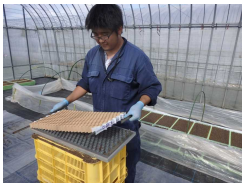
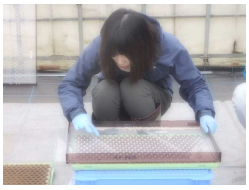
２連の畝立て同時施肥機だと、１日で終了するが、管理機だと２～３日掛かる。

◎ まとめ

畝立て同時作業機を利用すると、作業時間を約１／３まで短縮ことができる。

ねぎの栽培体系　～新体系～


作型
加温・無加温
1月
2月
3月
4月
5月
6月
上旬
中旬
下旬
1 越冬大苗7月どり
無加温
定植
2 越冬苗8月どり
無加温
定植
3 夏どり
加温
播種
定植
無加温
播種
定植
4 秋冬どり
無加温
播種
定植
播種
定植
播種
定植
作型
加温・無加温
7月
8月
9月
10月
11月
12月
上旬
中旬
下旬
1 越冬大苗7月どり
無加温
収穫
播種
2 越冬苗8月どり
無加温
収穫
播種
3 夏どり
加温
収穫
無加温
収穫
4 秋冬どり
無加温
収穫
収穫
収穫

苗の準備 播種～定植の間	ほ場の準備 定植時	栽培管理 定植～収穫の間	収穫・調整 収穫時
 チェーンポットへの土詰め	 耕起	 土寄せ（培土）	 収穫
 播種	 畝立て同時施肥機	 除草剤散布	 調整
 育苗管理	 ひっぱりくんによる定植	 病害虫防除（ドローン）	

ねぎの防除暦（夏ねぎ）　～改正版～

		農薬名
定植時		スタークル顆粒水溶剤 トップジンM水和剤
６月	上旬	Ｚボルドー（※１） ダントツ粒剤
	中旬	Ｚボルドー（※１）
	下旬	Ｚボルドー（※１） カスケード乳剤（※２） オリゼメート粒剤
７月	上旬	ジマンダイセン水和剤 モスピラン顆粒水溶剤（※２）
	中旬	オンリーワンフロアブル アグロスリン乳剤（※２） オリゼメート粒剤
	下旬	スターナ水和剤 グレーシア乳剤 モンガリット粒剤
８月	上旬	ヨネポン水和剤 アディオン乳剤

○　新しい考え方

※１　Ｚボルドーは、発生予測に基づき、べと病感染好適日（日平均気温13～20℃、日照時間１時間以下、降雨４㎜以上）の翌日に散布する。

※２　殺虫剤は、発生調査に基づき、ネギアザミウマの増加時のみ散布する。但し、収穫まで30日を切ったら、必ず使用する。